

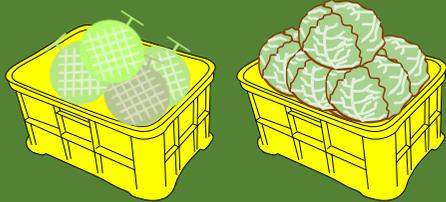
収穫時期が狙われる!

定期的な見回り



定期的な見回りをして、管理が行き届いていると思わせ、犯行を行わせないようにしましょう。

収穫物の保管・管理



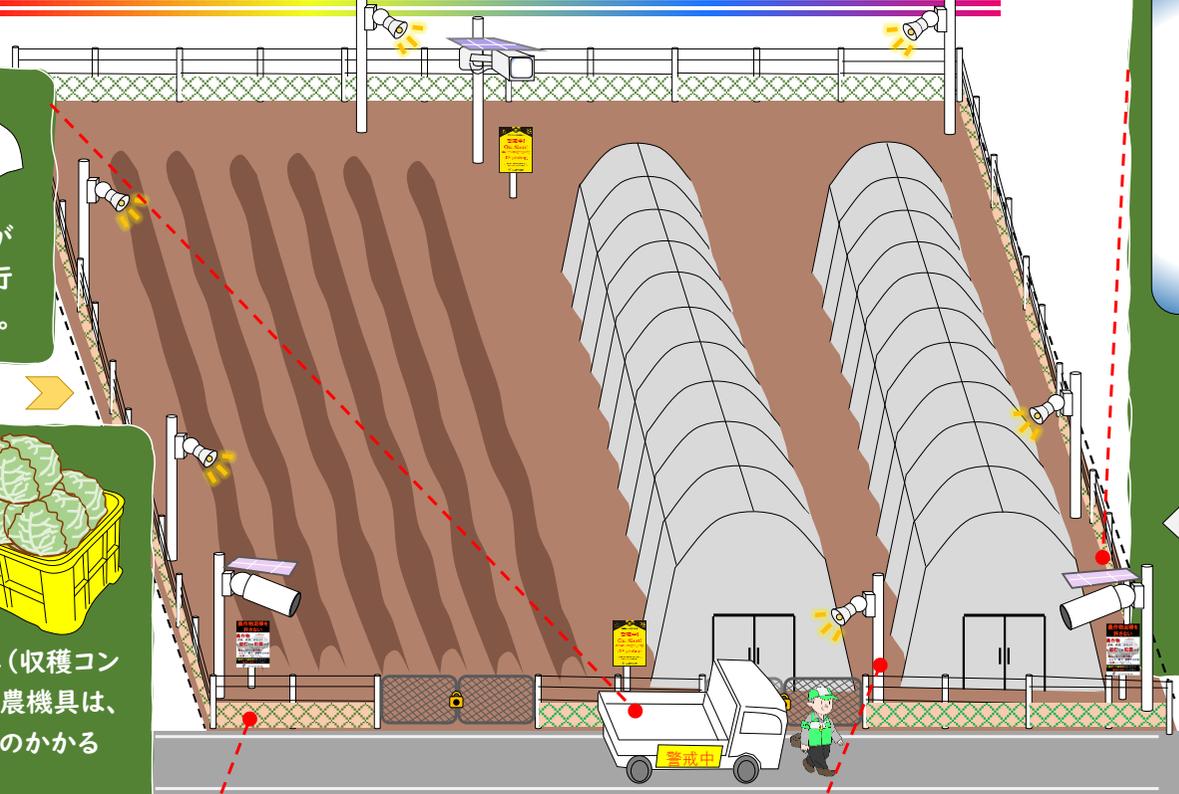
収穫した農作物や収穫用具（収穫コンテナ、ハサミ、脚立など）及び農機具は、農地に放置せず、回収して鍵のかかる倉庫などに保管しましょう。

ポスター等の掲示

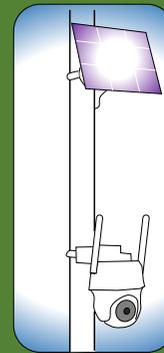


農地を柵などで囲い、警告ポスターを掲示することで、物理的、心理的に侵入しにくい環境にしましょう。
多言語のポスターを掲示すれば、日本語が読めない外国人への注意喚起をすることができます。

農作物防犯対策のポイント



防犯カメラ



カメラの存在を知らせることで、犯行を諦めさせるなどの効果が期待できます。
AIが不審者を認識して警報を鳴らすカメラもあります。手の届かない目立つ場所に設置すると効果的です。

電源の確保が難しい場所では、ソーラー式防犯カメラがおすすめです。



また、通信環境がなくても、SIMカードというものを挿入すれば、通信ができるタイプの防犯カメラがあります。

センサーライト



犯人は光を嫌います。
暗闇で光るセンサーライトは、心理的に犯罪を犯しにくい環境を作ります。

警報器



犯人は、音を嫌います。
警報音を鳴らせて、犯行を諦めさせましょう。センサーの検知範囲は、隙のないようにしましょう。

不審者・不審車両を見かけたら

110番通報!

詳細はコチラ
県警ホームページ
【農作物盗難に注意】



茨城県警察